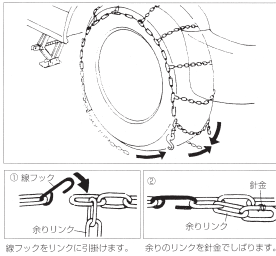
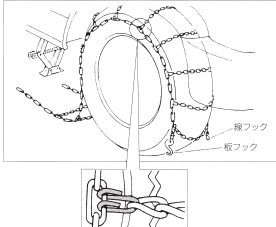
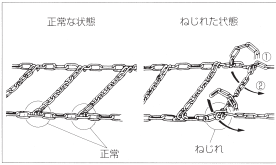


4 タイヤチェーン取付け方法

タイヤチェーンの取付け方にはジャッキアップして取付ける方法と、ジャッキアップしないで取付ける方法があります。



A. ジャッキアップして取付ける方法

1. チェーンのネジレを確認

ケーブルを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。ネジれている場合は図のように、サイドチェーンがコネクタから離れた状態になります。

- ネジれた状態の時は、矢印(①→②)のようにくぐらせることで、正常の状態になります。
- ネジれた状態では装着できない場合や、タイヤをキズ付けることがあります。チェーンの寿命も短くなります。

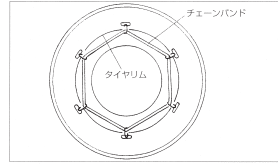
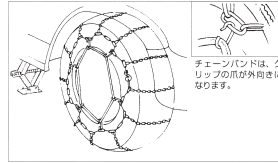
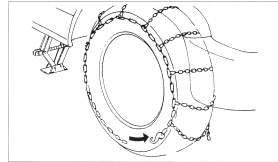
2. 取付け

- (1) パーキングブレーキを引き、ギアをローまたはバック(マニュアル車)、あるいはパーキング(オートマチック車)に入れます。タイヤ止めも併用してください。
- (2) 車輪をジャッキアップして、タイヤを完全に浮かします。
- (3) チェーンを板フックがタイヤ下部より5cm程度上下にできるようにタイヤにかぶせます。その際、コネクタの折曲げ部が外側(タイヤ面に接しない側)に、板フックがタイヤ外側、線フックがタイヤ内側になるようにタイヤにかぶめます。

▲注意
 ・コネクタの折曲げ部が内側(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**を付けることがあります。
 ・線フックが外側、板フックが内側になると、増し締め操作がやりにくくなります。**ゆるめ装着**になる場合が多いので注意してください。

- (4) サイドチェーンの調整リンク側(板フック、線フックのついていない側)を、浮かしたタイヤの下部からフック側にゆっくり引き寄せます。
 - (5) 調整リンクの最適な位置を確かめて、内側のサイドチェーンと線フックを連結します。
- 正しい取付け方は内側、外側とも余りのリンクが何数または内側が1リンク少なくなります。この状態でゆるみのないよう調整し、確実に締めてください。

▲注意
 余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
 そのままにして走行すると**車輻に接触**する場合があります。



- (6) 外側サイドチェーンをタイヤに平均にかぶせて最も張られた位置で連結します。
- ▲注意**
 余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
 そのままにして走行すると**車輻に接触**する場合があります。

- (7) バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けてください。
- サイドチェーンの結び方がゆるいと、バンドが効かない場合があります。チェーンバンドを外して、サイドチェーンを結び直してください。

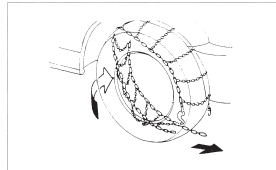
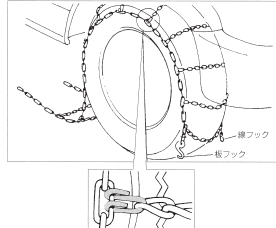
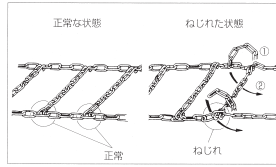
▲注意
 ・チェーンバンドを付けないで走行すると、チェーンが遠心力でふくらみ、**フェンダー等に当たる**ことがあります。
 ・クリップの爪が外向きになるように掛けてください。
クリップの爪が内向き(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**が付くことがあります。

3. 取付け状態の確認

- (1) チェーンがゆるくないかを確認する。
- チェーンバンドがサイドチェーンを引きつけ、正しく張られていることを確認してください。ゆるい場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
- (2) チェーンの掛かりが、タイヤに対して片寄りがないことを確認します。片寄っている場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
- 片寄りのない付け方は、図のようにチェーンバンドがタイヤの中央で均等になっている状態です。

▲注意
 片寄ったまま走行すると、**コネクタを踏んだり早期切損**につながりやすいです。

- (3) 全ての確認が終わったら、ジャッキをおろします。タイヤ止めは、左右のタイヤにタイヤチェーンを装着してから外します。



B. ジャッキアップしないで取付ける方法

1. チェーンのネジレを確認

ケーブルを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。ネジれている場合は図のように、サイドチェーンがコネクタから離れた状態になります。

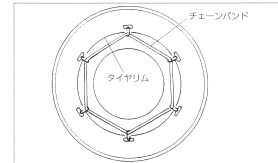
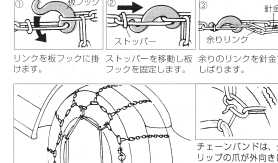
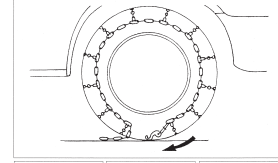
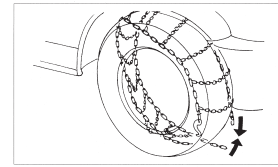
- ネジれた状態の時は、矢印(①→②)のようにくぐらせることで、正常の状態になります。
- ネジれた状態では装着できない場合や、タイヤをキズ付けることがあります。チェーンの寿命も短くなります。

2. 取付け

- (1) パーキングブレーキを引き、ギアをローまたはバック(マニュアル車)あるいはパーキング(オートマチック車)に入れます。タイヤ止めを使用して、車輪が動かないようにします。
- (2) チェーンを、板フックが路面より5cm程度浮くようにタイヤにかぶめます。その際、コネクタの折曲げ部が外側(タイヤ面に接しない側)に、板フックがタイヤ外側、線フックがタイヤ内側になるようにタイヤにかぶめます。

▲注意
 ・コネクタの折曲げ部が内側(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**を付けることがあります。
 ・線フックが外側、板フックが内側になると、増し締め操作がやりにくくなります。**ゆるめ装着**になる場合が多いので注意してください。

- (3) 外側のサイドチェーンをタイヤ内側に寄せて、サイドチェーンの調整リンク側(板フック、線フックのついてない側)を線フック側に投げ引き寄せます。固めの針金を用意しサイドチェーンの端末を引掛けて引寄せると楽にできます。



- (4) 調整リンクの最適な位置を確かめて、内側のサイドチェーンと線フックを連結します。
- 正しい取付け方は内側、外側とも余りのリンクが何数または内側が1リンク少なくなります。この状態でゆるみのないよう調整し、確実に締めてください。

▲注意
 余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
 そのままにして走行すると**車輻に接触**する場合があります。

- (5) 板フックが真下にくるようにチェーンをずらし、タイヤに平均にかぶせた後、外側サイドチェーンが最も張られる位置で連結します。
- 板フック部が真下にこないこと、つなぎ部の間隔が広がりゆるめ装着となります。
 ●板フックを反直し、その両端をサイドチェーンを強く手前に引きゆるみのないよう付けてください。

▲注意
 余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
 そのままにして走行すると**車輻に接触**する場合があります。

- (6) バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けてください。
- サイドチェーンの結び方がゆるいと、バンドが効かない場合があります。チェーンバンドを外して、サイドチェーンを結び直してください。

▲注意
 ・チェーンバンドを付けないで走行すると、チェーンが遠心力でふくらみ、**フェンダー等に当たる**ことがあります。
 ・クリップの爪が外向きになるように掛けてください。
クリップの爪が内向き(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**が付くことがあります。

3. 取付け状態の確認

- (1) チェーンがゆるくないかを確認する。
- チェーンバンドがサイドチェーンを引きつけ、正しく張られていることを確認してください。ゆるい場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
- (2) チェーンの掛かりが、タイヤに対して片寄りがないことを確認します。片寄っている場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
- 片寄りのない付け方は、図のようにチェーンバンドがタイヤの中央で均等になっている状態です。

▲注意
 片寄ったまま走行すると、**コネクタを踏んだり早期切損**につながりやすいです。

取付け方法
 確認動画
 QRコード
 (ジャッキアップ有り)

取付け方法
 確認動画
 QRコード
 (ジャッキアップ無し)